



6月定例会

平成十五年六月定例会は、六月十一日に開会し、六月二十六日までの六日間にわたって審議を行いました。
今定例会では、十名の議員が一般質問を行ったほか、市長から提出された鎌倉市職員の給与に関する条例や鎌倉市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例などの一部改正、製造請負契約の締結、平成十五年度一般会計補正予算など十五議案を可決するとともに、教育委員会委員の選任について同意しました。
また、議員から提出された「墓地経営許可に関する意見書」の意見書提出議案を可決しました。このほか、陳情三件を採択しました。

条例議案5件を可決

職員給与の暫定削減など

今定例会に市長から、条例の一部を改正するための議案四件と、条例を廃止するための議案一件が提出されました。

議案では審議の結果、鎌倉市職員の給与に関する条例の一部改正議案については多数の賛成により、その他の議案については総員の賛成により可決しました。

議案の内容などについては、次のとおりです。

《条例の一部改正》

◎鎌倉市職員の給与に関する条例

第三次鎌倉市総合計画後期実施計画事業等に係る大幅な財源不足に対応するため、暫定的な職員給与の削減措置を行うとともに、県内各市に比べて高い水準にある技能労務職（清掃作業員、給食調理員など）の給料を見直し、その適正化を図るものです。

その内容は、職員給与の暫定削減についてはその対象を給料及び調整手当とし、平成十五年七月一日から三年間、本来の給料月額から四割を削減するもので、特例として管理職職員は五割、一般職及び消防職で職務の級が三級以下の職員は三・五割、技能労務職のうち四級以上の職員は三割、三級以下の職員は二・

五割の削減率とするものです。また、技能労務職の給料の見直しについては給料月額を平均で四千五百円、平均改定率で一割を減額するための給料表の改定を行うものです。

議案では、職員給与の暫定削減について、職員組合との誠意ある交渉が行われなかったため、今回の条例改正は認められないとの意見がありました。妥当としませんでした。

◎鎌倉市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例

人件費総体の見直しの一環として、法令または条例に定める附属機関及び諮問機関の委員の報酬を、委員長については日額一万六千五百円から一万二千元に、委員については一万四千五百円から一万円に引き下げるものです。

議案では、今回の改正が非常勤特別職職員の報酬を見直し、他市との均衡を図るものであることから妥当としませんでした。

◎鎌倉市手数料条例

住民基本台帳法の一部改正され、本年八月二十五日から住民基本台帳ネットワークシステムが本稼動することに伴い、住民票の広域交付や住民基本台帳カードの交付に係る手数料の新設等を行うものです。また、鳥獣の

保護及び狩猟の適正化に関する法律が施行されたことに伴い、手数料の名称を変更するものです。

議案では、今回の改正が法令の改正によるものであり、手数料についても国からの通知を踏まえ、本市における類似の手数料や県内各市の手数料との均衡が図られていることから妥当としませんでした。

◎鎌倉市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

北鎌倉駅の北に位置する丘陵地で、宅地開発による計画的な市街地環境の整備が行われている台亀井地区について、周辺の

環境と調和するとともに、地区内に残された緑地を保全し、緑豊かで閑静な低層住宅地の形成と保全を図るため、台亀井地区地区計画を都市計画決定したことに伴い、規定の整備を行うものです。

議案では、今回の改正が台亀井地区地区整備計画区域における建築物の制限を規定することで、地区計画の実効性を高めようとするものであることから妥当としませんでした。

《条例の廃止》

◎鎌倉市特別土地保有税審議会条例

地方税法の一部改正により、これまで特別土地保有税の納税義務を免除する場合は是非については、特別土地保有税審議会へ付議すべきとされていた要件が廃止されるとともに、同審議会を廃止することとされたため、この条例を廃止するものです。

《主な内容》

- 議決した議案……………1面
- 一般質問……………2・3面
- 議決した議案……………4面
- 議決した陳情……………4面
- 議決した意見書……………4面

9月定例会は、9月10日(水)に開会予定です

請願・陳情の提出について

本市議会では、各定例会での請願・陳情の審査に当たり、受付期限を設けています。
9月定例会の受付期限は9月9日(火)です。
受付期限内に提出されたものは、9月定例会で審査されます。
上記の受付期限を過ぎて提出されたものは、原則として次回定例会での審査となります。

一般質問

6月定例会では10名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いました。詳しくは9月上旬に発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

児島 晃	……○行財政改革について
小田嶋敏浩	……○子育て支援について
松尾 崇	……○自転車、自動二輪に関する問題について○大船のまちづくりについて○市町村合併について
大石 和久	……○ゴミ行政について（生ゴミ処理について、廃プラ分別収集・処理について、今泉クリーンセンターについて）
三輪裕美子	……○子育て支援の充実○住民基本台帳ネットワーク本格稼働にむけて
中村聡一郎	……○NPOと行政とのパートナーシップ（協働）について○安全なまちづくりについて
伊藤 玲子	……○行財政改革の推進について○教育行政の諸問題について
千 一	……○小袋谷新道のパリアフリー化について○グリーンセンターの熱の利用について○職員の異動について○作業所利用者の賃金の最低保障について○鎌倉の活性化のために
岡田 和則	……○動物の愛護と管理について
藤田 紀子	……○健康日本21等を受けての健康づくり

住民福祉増進のための行財政改革を

児島 晃 議員

質問：地方自治体は国全体の仕事の六割を担っている。しかし保障されている財源は四割しかこの十年で、市の歳入が、国の補助金カットや高額所得者減税のたため約百億も減少している。市長は、どう制度改革すべきとお考えか。
市長：地方分権を推進するためには、税財源の移譲を伴うことが必要である。
質問：政府や鎌倉市が進めている行革を見ると「行革とは福祉切り捨てなり」と見える。
市長：市民へのサービスの低下を招かぬよう、民間活力の導入及び事務事業の見直しなどを進めている。住民福祉の担い手は職員として、最少の経費で最大の効果を上げるよう努めていると考えている。

自転車・大船のまちづくり・市町村合併

松尾 崇 議員

質問：我が国では、これまで自動車も主役のまちづくりがされてきた。その結果、排気ガスによる大気汚染、地球温暖化、騒音問題、交通事故等の弊害もたらされた。環境に優しい自転車多めのまちづくりをしよう。まず、大船・鎌倉駅周辺の自転車、バイクの放置状況と、駐輪場の整備計画について聞きたい。
部長：放置状況は、平成十四年度末四時時点の合計平均台数で、大船駅は約七万台、鎌倉駅は約七万台、西口は約四十台である。駐輪場の整備計画は、大船駅西口を最優先と考へ、公有地等の有効活用について協議・調整を行っている。西口についても駐輪場の空き待ち利用者約四百三十人いるので、早期に増設等ができるよう努めている。
質問：JRその他鉄道を連携して駐輪場の整備に当たっていくべきか。
部長：JRとの連携については、JRの土地利用計画から離れていない。早く着ていただけるように、私どもは努力を怠らない。
質問：大船駅西口駅前整備協議会の短期的方針を受けて、行政として今後の見通しは、どうか。
部長：今後の見通しについては、協働・調整を図ってまいりたい。
質問：小袋谷・緑橋の早期完成はどうか。
市長：早期に着工できるように、私は努力を怠らない。
質問：大船駅西口駅前整備協議会の短期的方針を受けて、行政として今後の見通しは、どうか。
市長：今後の見通しについては、協働・調整を図ってまいりたい。

健康日本21等を受ける健康づくり

藤田 紀子 議員

質問：健康増進法が施行され、この運動喚起防止規定が盛り込まれた。公共施設における喫煙全面禁止を決定した市長の決意を伺いたい。
市長：法的に合わせた。公共施設内を率先して全面禁煙することは自治体の使命である。愛煙家の市民の方には、ぜひご協力をお願いしたい。勤務時間中の職員は禁煙と自覚を持って協力をお願いし、私自身も勤務中に禁煙している。
質問：生活習慣病は発生する死亡率は統計上割合を占めている。生活習慣病予防は、健康日本21で基本的方向性が示されているが、その運動の基礎



放置禁止区域に駐輪されたバイク・自転車

質問：沈黙の病気といわれる生活習慣病予防への取り組みを強めるべきである。基本健康診査での「異常なし」はわずか七・二％。多くの人が早期に高血圧、糖尿病、脂質異常症、がんが重症化している。日本は、痴呆、寝たきりの数も世界一である。これは生活習慣病が大いに関係がある。これらについて市民の見解を伺いたい。
部長：本市の健康診査受診率はかなり高い。検診事業、健康診査を通して、生活習慣の改善、健康増進への意欲を育成してまいりたい。

鎌倉の少子化深刻 子育て支援の充実を

小田嶋敏浩 議員

質問：鎌倉市の一人の女性が生涯に産む子どもの平均人数が、平成十三年度において〇・九六人になった原因は何か。
市長：一般的には住宅や子育て環境にかかる費用負担が大きいことが、特に鎌倉市においては、子どもを産む年齢層の未婚率が上昇平均に比べて高いこと、高学歴の女性の比率が県平均に比べて高いことの結果から、晩婚化による減少傾向と解釈している。
質問：厚生労働省調査の結果からも、育児や家事などにかける時間が女性の場合は、五時間六分、男性が三十三分、男女ともに子育てする状況になっていないが、産みにくい、子育てににくいことの原因はあることを認識しているか。
市長：一般的な少子化の原因は、「一指指の社会背景がある」と思うし、男女共同参画社会の実現や子育て支援が重要な課題と認識している。
質問：だれも安心して産み、子育てできるように鎌倉市は、どうか。
部長：厚生労働省調査の結果から、育児や家事などにかける時間が女性の場合は、五時間六分、男性が三十三分、男女ともに子育てする状況になっていないが、産みにくい、子育てににくいことの原因はあることを認識しているか。
市長：一般的な少子化の原因は、「一指指の社会背景がある」と思うし、男女共同参画社会の実現や子育て支援が重要な課題と認識している。
質問：だれも安心して産み、子育てできるように鎌倉市は、どうか。
部長：厚生労働省調査の結果から、育児や家事などにかける時間が女性の場合は、五時間六分、男性が三十三分、男女ともに子育てする状況になっていないが、産みにくい、子育てににくいことの原因はあることを認識しているか。
市長：一般的な少子化の原因は、「一指指の社会背景がある」と思うし、男女共同参画社会の実現や子育て支援が重要な課題と認識している。

行財政改革と教育行政の諸問題

伊藤玲子 議員

質問：平成十三年度から十七年度までの予定で、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。
部長：調査は今年度からスタートし、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。
部長：調査は今年度からスタートし、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。



市内で捕獲されたハクビシン

ごみ行政について

大石和久 議員

質問：今後のごみの減量、資源化の決め手は生ごみ処理であることだが、現在の生ごみ処理機の普及状況、処理機による減量効果はどうか。
部長：普及率は約二十台、処理機による減量効果は年間千七百トンと推定されている。
質問：生ごみ処理機の継続的な利用のための施策を聞きたい。
部長：担当の資源対策課に相談窓口を設け、利用者にはフォローアップはがきを送り、必要に応じて職員が訪問説明を行っている。

動物の愛護と管理

岡田和則 議員

質問：市内の小中学校で、動物を飼育することによって教育効果を高めることになっているが、その効果について聞きたい。
教育長：思いやり、責任感、生命の不思議さや尊厳、人と人の協力、ある方方を学ぶなどの効果がある。
質問：移入鳥獣が増えたら駆除では不策だが、本市では移入種の駆除を行っているだけだ。早急にルールづくりを入ることを要望する。タイワリスの問題にどう立ち向かおうとしているのか聞きたい。
部長：神奈川県獣医協会の協議会の中で対応を図っている。

行財政改革と教育行政の諸問題

伊藤玲子 議員

質問：平成十三年度から十七年度までの予定で、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。
部長：調査は今年度からスタートし、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。
部長：調査は今年度からスタートし、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。

子育て支援・住基ネット本格稼働に向けて

三輪裕美子 議員

質問：認可保育園では大船方面の私立園しか一時保育事業を実施していない。障害児を含めた全市展開を望む。
部長：施設整備を行う中で実施の受け入れ体制を研究し、可能な限り受け入れていきたい。
質問：無認可保育園の保育料は認可園や認定園の保育料に比べて倍以上で、また、税金の投入面でも、施設に対する助成が乏しいなど格差がある。こういった不公平をどう考えるか。
部長：保育料の格差解消に努め、施設の助成については今後検討したい。
質問：第三の子育て支援センターをモジュール湘南駅周辺に早期開設することを要望する。
部長：ご提案の具体的な場所も含め、既存施設の活用を想定し、設置に向けてがんばっていく。
質問：平成十八年度に予定されている保育園改修の際は、住民ニーズに沿った複合施設を造るべきと考えられる。
部長：要素段階から施設建設を進めるべきと思う。

鎌倉の活性化のために

千一 議員

質問：以前よりよくなったが、まだ歩行者にとっても車上り利用者にとっても、とても危ないものがある。県では電線類の地中化を含め調査・検討すると昨年聞いたが、その後どのような方向性になっているか。
部長：県で電線類の地中化を視野に入れて検討しており、調査等の予算も確保された。県との連携を図りつつ早期の整備に向けて努力していく。
質問：ごみを燃やした熱の再利用は半ば常識化している。鎌倉市でもグリーンセンターの熱の再利用は、多目的に利用する方式に既展示イヤー方式があるが、それには焼却炉本体の構造変更を要し、長期間の休炉を多額の経費が必要になる。中、長期の課題として検討を進めたい。
市長：制度の変わり目やロジックの中、人事異動は、市民に迷惑がかり、市民サービスの低下につながるのではないかと懸念している。
市長：人事異動で担当者がかわった場合も、事務処理マニュアルを作成するなど適切な対応ができるように努める。
質問：障害者が労働する地域作業所では、一日労働でも賃金が百円にも満たない方が多

ごみ行政について

大石和久 議員

質問：今後のごみの減量、資源化の決め手は生ごみ処理であることだが、現在の生ごみ処理機の普及状況、処理機による減量効果はどうか。
部長：普及率は約二十台、処理機による減量効果は年間千七百トンと推定されている。
質問：生ごみ処理機の継続的な利用のための施策を聞きたい。
部長：担当の資源対策課に相談窓口を設け、利用者にはフォローアップはがきを送り、必要に応じて職員が訪問説明を行っている。

動物の愛護と管理

岡田和則 議員

質問：市内の小中学校で、動物を飼育することによって教育効果を高めることになっているが、その効果について聞きたい。
教育長：思いやり、責任感、生命の不思議さや尊厳、人と人の協力、ある方方を学ぶなどの効果がある。
質問：移入鳥獣が増えたら駆除では不策だが、本市では移入種の駆除を行っているだけだ。早急にルールづくりを入ることを要望する。タイワリスの問題にどう立ち向かおうとしているのか聞きたい。
部長：神奈川県獣医協会の協議会の中で対応を図っている。

行財政改革と教育行政の諸問題

伊藤玲子 議員

質問：平成十三年度から十七年度までの予定で、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。
部長：調査は今年度からスタートし、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。
部長：調査は今年度からスタートし、市内全域の自治会・町内会の協力を得て健康生活調査を実施し、基本的生活習慣を踏まえ、本市の地域性を考慮し、市民の健康づくりを支援する事業を展開してまいりたい。

製造請負契約

市道路線の廃止・認定

◆製造請負契約
今定例会に市長から製造請負契約を締結するための議案と市道路線の廃止及び認定の議案が提出され、審議の結果、総員の賛成により可決しました。

◆はしご付消防ポンプ自動車の製造請負契約
昭和五十七年三月に購入したはしご付消防ポンプ自動車の老朽化に伴う更新をするものです。契約の相手方は、近鉄モーター株式会社で、契約金額は一億四千九百九十六万五千五百二十円です。なお、納入期限は平成十六年一月十五日で、大船消防署に配備される予定です。

◆市道路線の認定
昭和五十七年三月に購入したはしご付消防ポンプ自動車の老朽化に伴う更新をするものです。契約の相手方は、近鉄モーター株式会社で、契約金額は一億四千九百九十六万五千五百二十円です。なお、納入期限は平成十六年一月十五日で、大船消防署に配備される予定です。

◆市道路線の廃止
雪ノ下一丁目二三九番一地先から同所一三八番二地先に至る路線は、現在一般の交通の用に供されていないため、道路法の規定に基づき廃止するものです。

◆市道路線の認定
植木字植谷戸二〇八番八地先から同所二〇六番一八地先の路線は、一般の交通の用に供されているため、梶原二丁目八五

◆市道路線の認定
六番五四地先から同所八五六番四八地先の路線は、開発行為に



他の自治体に納入されている同社のはしご付消防ポンプ自動車(本市に納入されるものは、はしごの長さ等仕様と違いがあります)

員に伴い築造された道路であり、一般の交通の用に供するため、また、山崎字打越一三九〇番二地先から同所一三九〇番五八地先の路線は、(仮称)鎌倉山崎団地建設事業に関する基本協定書に基づき築造された道路であり、一般の交通の用に供するため、それぞれ道路法の規定に基づき認定するものです。

補正予算

◆今定例会に平成十五年度一般会計補正予算及び下水道事業特別会計など五特別会計の補正予算が提出されました。審議の結果、すべての補正予算について、多数の賛成で可決しました。

◆一般会計
補正の内容は歳入歳出いずれも千三百三十万円を追加するもので、補正後の総額は五百四十二億一千八百三十万円となります。歳出の主なものは、鎌倉市職

員の給与に関する条例の改正等による職員給与費の増減に伴う措置を各款に共通して行うほか、次のとおりです。

◆下水道事業特別会計
百十二億五千四百万円

◆大船駅東口市街地再開発事業特別会計
三億八千六百七十万円

◆国民健康保険事業特別会計
百二十八億一千八百二十万円

◆老人保健医療事業特別会計
百六十九億七千六百二十万円

◆介護保険事業特別会計
八十五億七千七百七十万円

陳情3件を採択

◆知的障害者グループホーム等への家賃補助についての陳情
議会では、精神障害者と知的障害者に対する国や県の制度の違い、補助金のあり方及びグループホーム等を運営する事業者や利用者の現状などの観点から、審議しました。その結果、グループホーム等は、ノーマライゼーションの考え方から重要な施設であるとの認識に立ち、施設運営が厳しい状況の中、本陳情が市内七施設の運営団体の総意として提出されたこと、また入居者の収入も十分とは言えず、生活保障のためにも家賃補助は必要との判断から、総員の賛成により採択しました。

◆宗教法人正満寺(東京都港区)の墓地経営許可申請についての陳情
鎌倉市の墓地基本方針策定及び無計画な墓地建設規制についての陳情
二件の陳情の要旨はいずれも、墓地の新設によって、本市の自

然環境や歴史的遺産・景観及び市民の良好な生活環境が破壊されるおそれがあるとして、市民の生活権を重視した墓地計画の策定と墓地経営関係等の市条例等の法整備について議会の尽力を願いたいというものです。

市からは、今後も墓地の新設が予測されることから、法令や県条例との整合を図りつつ、本市の地域特性を反映した規制などの対応が可能であるか等多方面から検討する必要があると認識し、その取り組みに対する準備作業を行っているとの説明がありました。

議会では、墓地の設置・経営が地方公共団体の重要な住民サービスであること、墓地の設置場所は、周辺の生活環境との調和が配慮されるべきであることなど市の行政課題として位置付けることが重要であるとの観点から審議した結果、墓地問題はまちづくりの視点において、重要な課題であり、市の早急な取り組みを後押しする必要があるとの判断から、総員の賛成により採択しました。

教育委員会委員

今定例会に、市長から教育委員会の委員の選任についての議案が提出され、議会では総員の賛成により同意しました。選任された方は、次のとおりです。

山口宇宙氏(植木在住)
任期は平成十五年六月二十三日から平成十九年六月二十二日までの四年間です。

委員会構成の変更

委員会の構成が次のとおり変更になりました。

〈議会運営委員会〉
白倉重治委員長が委員長を辞任し、澁谷廣美委員を委員長に選任しました。

委員 松尾 崇
副委員長 三輪裕美子
委員 中村聡一郎
委員 大石 和久
委員 高橋 浩司
委員 小田嶋敏浩

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。海水浴場開き、花火大会、各地域の夏祭り、さまざまな行事が続いております。皆様にはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、今号の議会だよりですが、本来であれば議長、副議長をはじめ役員改選の内容をお知らせする予定でありましたが、残念ながら記事を載せることができずして、各会派より希望を提出し、投票直前までだれが役員になるかわからなかった方式を改め、二年前から立候補制を導入

議会のホームページを開設しています
議会の流れ、傍聴方法、請願・陳情の出し方、議会の日程などをお知らせしていますので、ご覧ください。
アドレス…
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm>

音声版・点訳版「議会だより」のご案内
本市議会では、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、「議会だより」の音声版(収録テープ)と点訳版を作成し、発行しています。
ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。
☎ 0467(23)3000 内線2448番

